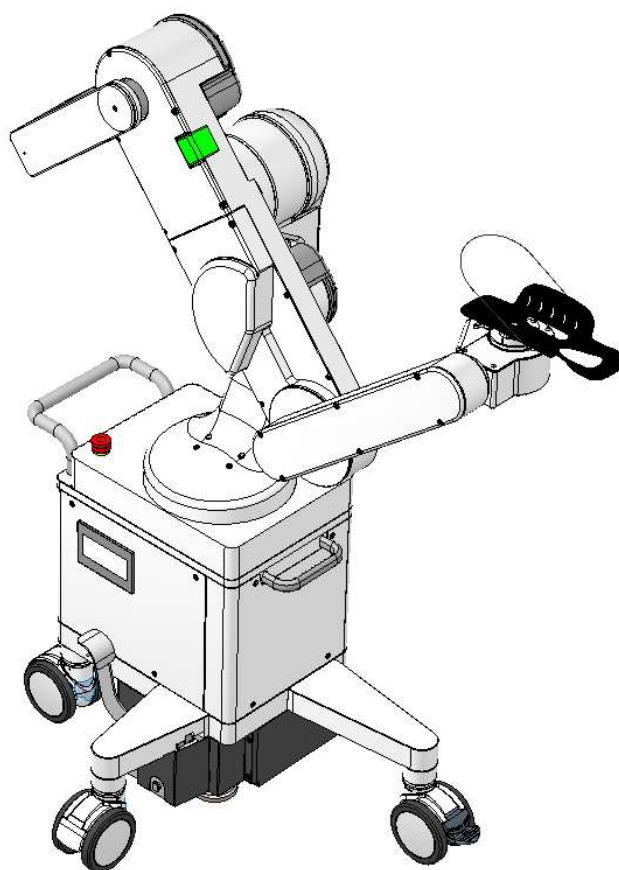


手術支援用手台

iArms

(Intelligent Arm Support System)

取扱説明書（ドレープ装着）



右手用 名称：iArmS-R(品番：IAR01)

左手用 名称：iArmS-L(品番：IAL01)

7-4 シングルユースカバー(ドレープ)を装着する(不潔な人+清潔な人の作業)

滅菌処理されたシングルユースカバー(ドレープ)を本体に装着し、汚染を予防します。

注意! シングルユースカバーの取り扱いに関する注意事項

貯蔵・保管について

- ・ 高温、多湿、直射日光、水濡れを避けて保管してください。
- ・ 蛍光灯、紫外線殺菌灯下やオゾンを発生する器械等の周辺に保管しないでください。

その他の特に注意いただきたいこと

- ・ シングルユースカバーを落としたり、衝撃を与えると破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 使用期限を過ぎたシングルユースカバーは使用しないでください。
- ・ シングルユースカバーの包装が破損、汚損していたり、シングルユースカバーに異常が見られるものは使用しないでください。
- ・ シングルユースカバーの包装を開封したらすぐに使用し、使用後は感染防止に留意し、安全な方法で処分してください。
- ・ シングルユースカバーは丁寧に扱ってください。乱雑に扱うとピンホール等の発生の原因となります。
- ・ シングルユースカバーはシングルユース品のため、毎回新品を使用してください。
- ・ 手台部分との脱着を行ってしまった場合は、ピンホールが発生している可能性がありますので、新しいものと交換してください。
- ・ 使用中に穴があく等、製品に異常が現れた場合は使用を中止し、新しいシングルユースカバーと交換してください。
- ・ シングルユースカバーは雑品です。

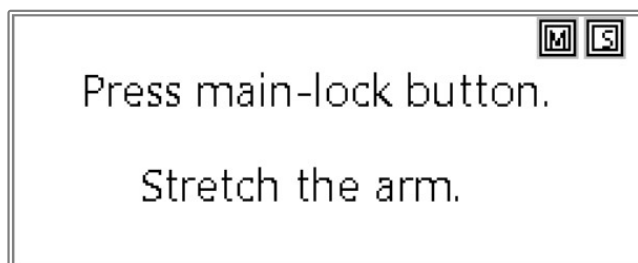


警告

シングルユースカバー(ドレープ)の装着は2人で行います。
不潔側と清潔側に分かれて作業してください。

不潔な人の作業

1 操作パネルに以下の画面が表示されていることを確認します。



2 本体の状態を確認します。

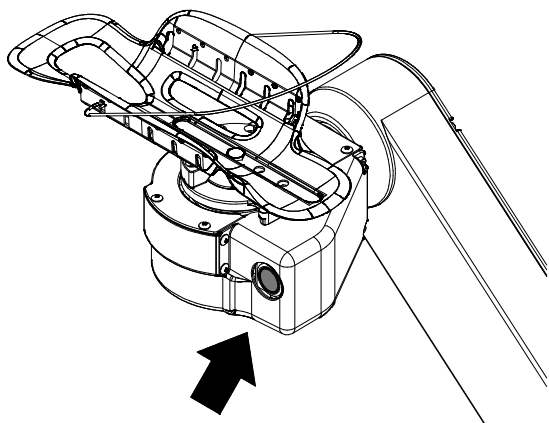
iArmS 本体の状態表示ランプが白になっていることを確認します。

もし状態表示ランプが黄色の場合は、メインロックボタンをオンにして、表示が白になっていることを確認してください。

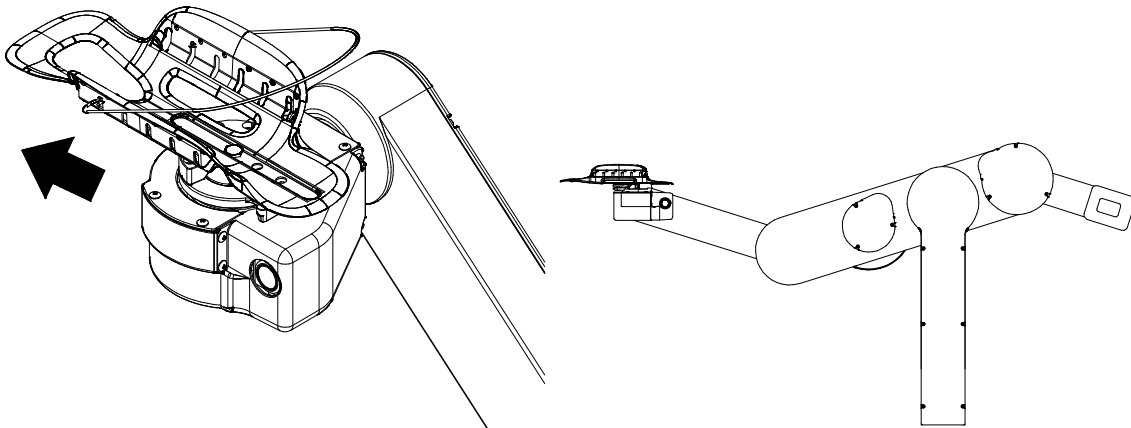
3 アームを伸ばします。

シングルユースカバー(ドレープ)を装着しやすくするために、アームを伸ばします。

アームエンドユニットの上に手を置いた状態で、メインロックボタンを押して Main Lock(白表示)を解除します。



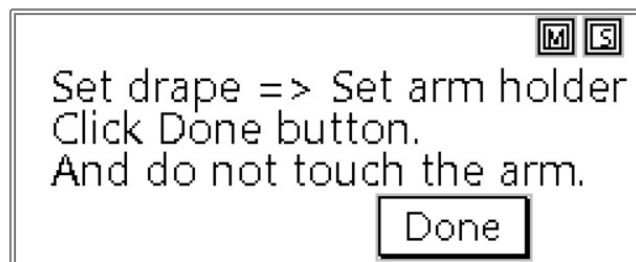
Main Lock を解除し“ピピピッ”と音が鳴るところまでアームを伸ばします。



⚠ 注意

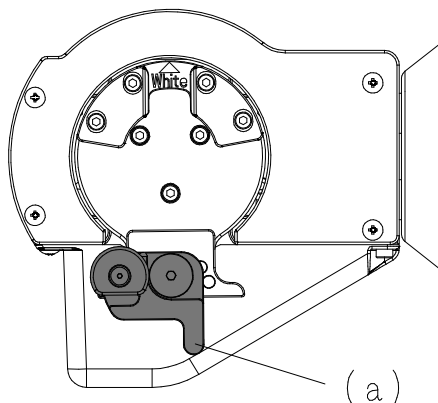
アームエンドユニットの上に手を置かないで Main Lock を解除するとアームが上に跳ね上がり危険です。軽度の被害を及ぼす恐れがありますので、必ずアームエンドユニットの上に手を置いて操作してください。

アームが自動でロックされ以下の画面が表示されます。






注意 **!** リユースホルダ(アームホルダ)、シングルユースカバー(ドレープ)の装置が完了するまで、[Done]は、タップしないでください。

4 リユースホルダ(アームホルダ)取り付け部のホルダ固定レバー(a)をつまみ、ストッパーをイラストの状態にしてください。

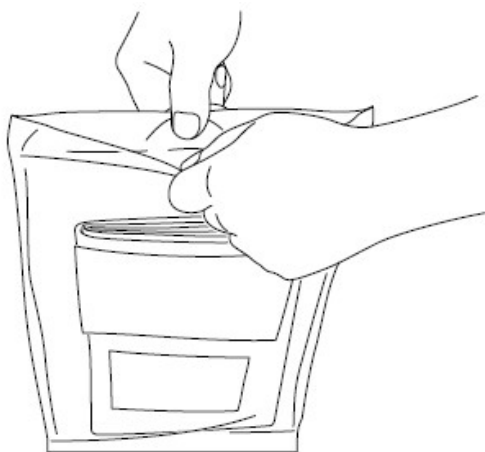


5 シングルユースカバー(ドレープ)を用意します。

 警告	シングルユースカバー(ドレープ)は必ず新品を使用してください。
 警告	シングルユースカバー(ドレープ)が、装着時または術中に破れた場合は新しいものと交換ください。交換しないまま使い続けると、感染のリスクや患者、操作者に怪我をさせる可能性があります。
 警告	弊社指定のシングルユースカバー(ドレープ)以外は使用しないでください。動作不良や感染の原因となります。

6 新品のシングルユースカバー(ドレープ)の上側を開封します。

シングルユースカバー(ドレープ)を開封するときは、ラベルに対して上部から開封してください。

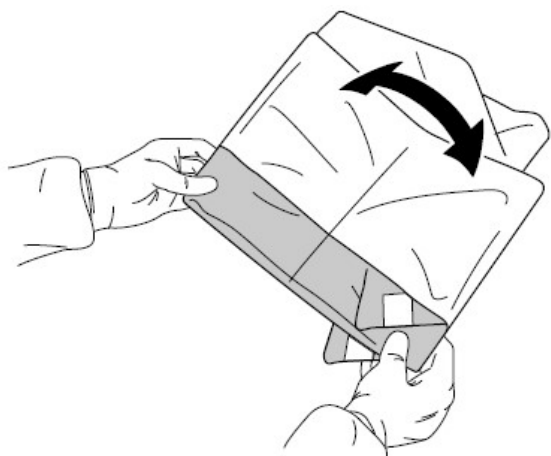


清潔な人の作業

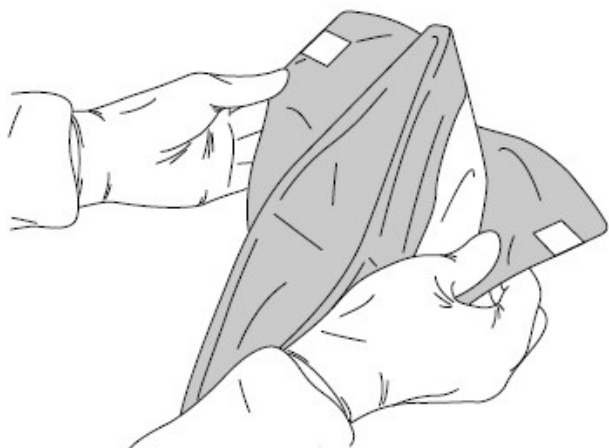
7 不潔な人がシングルユースカバー(ドレープ)の上側を開封した状態で持ち、清潔な人が袋から取り出します。



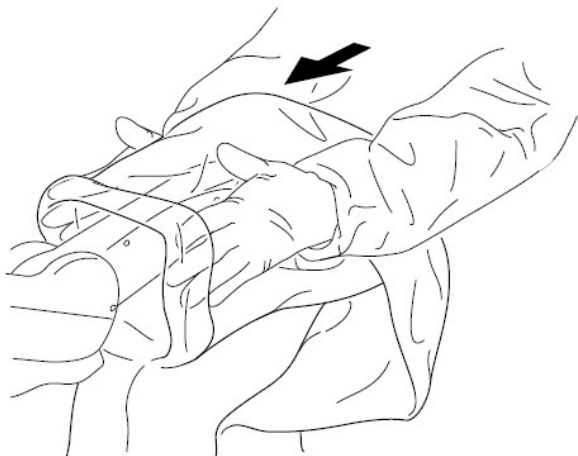
8 シングルユースカバー(ドレープ)を開きます。



9 白い印の箇所が上になるように持ちます。

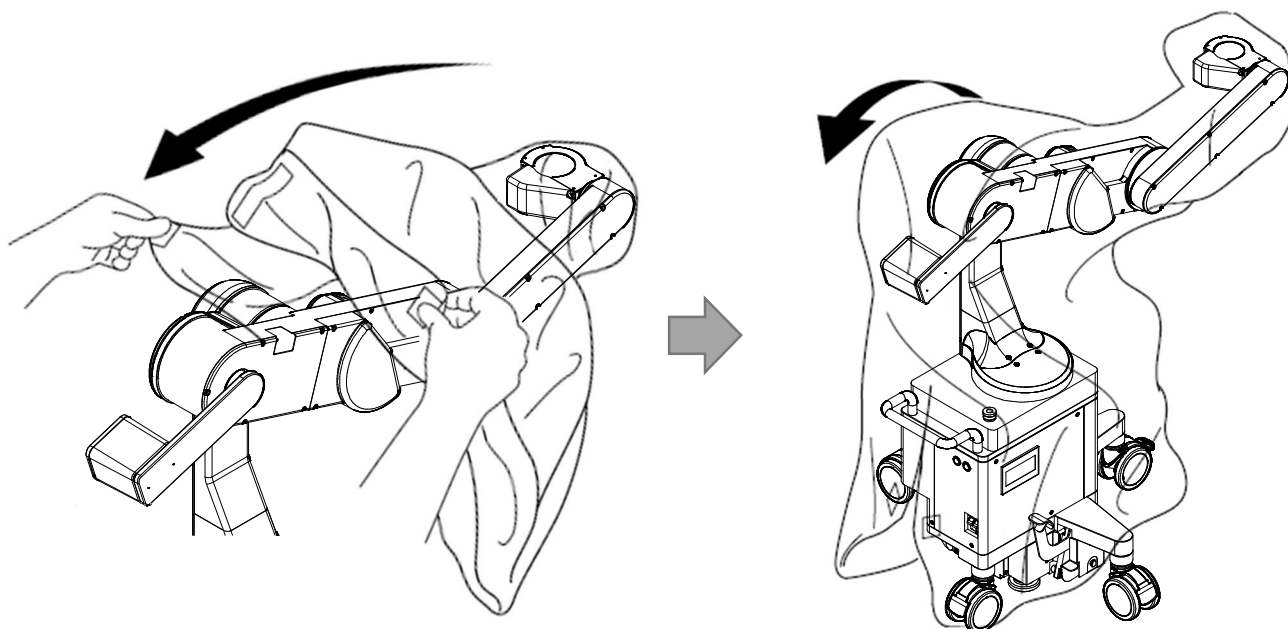


10 シングルユースカバー(ドレープ)をアームに被せます。



不潔な人の作業

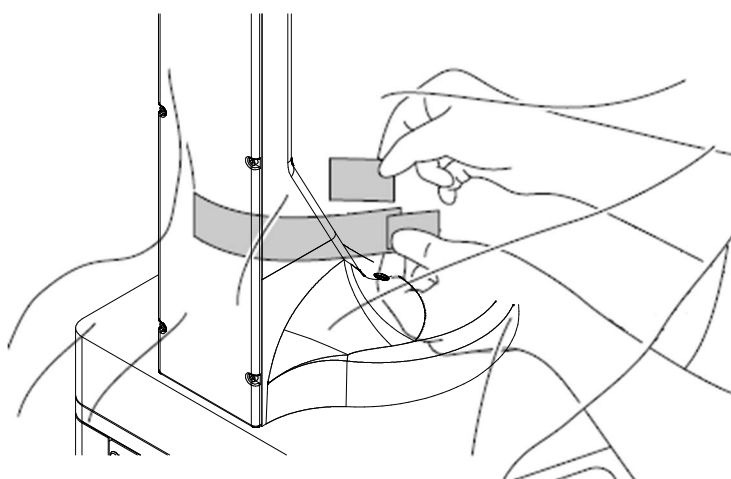
- 11 白い印の部分を持ち、シングルユースカバー(ドレープ)を iArmS 本体の台までゆっくり被せます。



注意! シングルユースカバー(ドレープ)をアームに被せるときに、清潔領域に触れないよう注意してください。

- 12 シングルユースカバー(ドレープ)内部の緑色のテープを外し、ベースアームに回して止めます。

テープとベースアームの間に指が1~2本入る程度の緩さで止めてください。

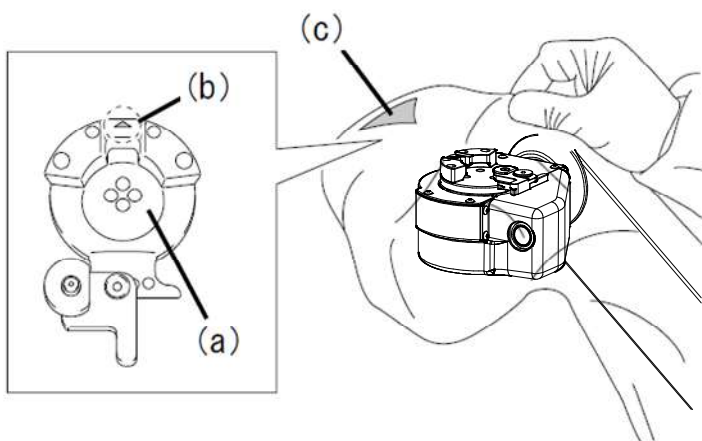


清潔な人の作業

13 リユースホルダ(アームホルダ)取り付け部(a)の三角マーク(b)と、シングルユースカバー(ドレープ)に印刷されている三角マーク(c)の頂点を合わせます。

注意! 左手用 iArmS の場合は、シングルユースカバー(ドレープ)の青色の三角を、リユースホルダ(アームホルダ)取り付け部の三角マークに合わせます。

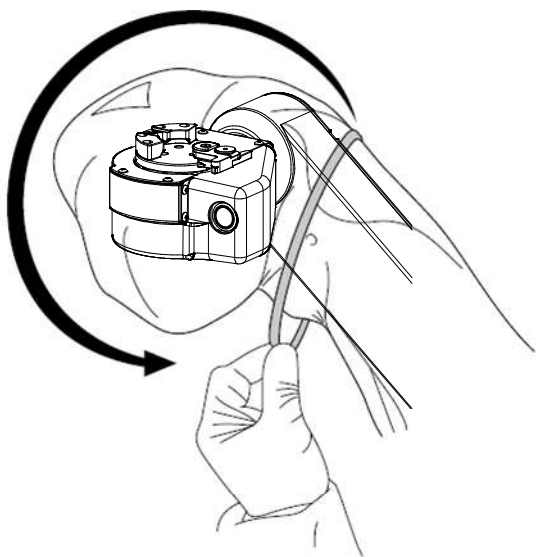
注意! 右手用 iArmS の場合は、シングルユースカバー(ドレープ)の白色の三角を、リユースホルダ(アームホルダ)取り付け部の三角マークに合わせます。



注意

正しく位置を合わせていない場合、手術中にリユースホルダ(アームホルダ)の回転が妨げられ、手術の邪魔となる恐れがあります。

14 アーム先端部に付いている輪ゴムをアームエンドユニットに通して止め、シングルユースカバー(ドレープ)の装着作業を終了します。








警告

手術中にシングルユースカバー(ドレープ)に引っ掛かることがないように、無駄な余りがなく装着されていることを確認してください。

7-5 リユースホルダ(アームホルダ)を組み立てる(清潔な人の作業)


滅菌処理されたリユースホルダ(アームホルダ)を組み立てます。

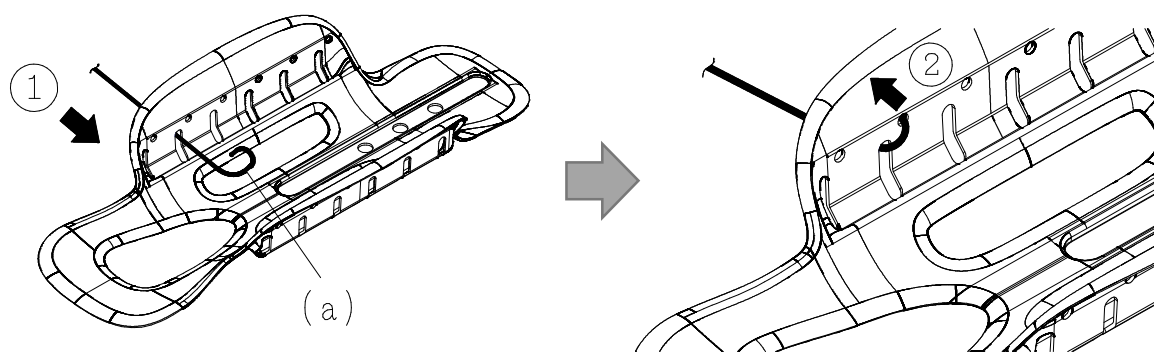
 警告	リユースホルダ(アームホルダ)の組み立ては、必ず清潔な人が行ってください。
 警告	組み立ては、清潔領域で行ってください。
 警告	リユースホルダ(アームホルダ)は必ず洗浄・滅菌したものを使用してください。
 警告	組み立て中に部品が不潔領域に落下した場合は、洗浄・滅菌済みのものに交換してください。
 警告	リユースホルダ(アームホルダ)には弊社指定の部品以外は組み付けないでください。 組み付け不良による部品の落下や、破損、重量バランスが崩れることによる誤作動の恐れがあります。

以下を用意し、各部品に著しい劣化、割れ、欠けなどがないことを確認してください。

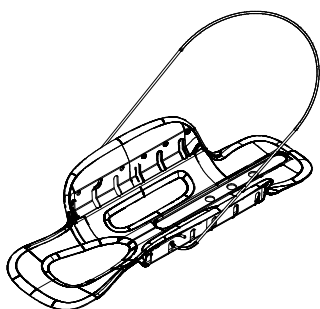
・付属品：リユースホルダ(アームホルダ)セット(1セット)

- 1 リユースワイヤーを外側からリユースホルダ(アームホルダ)の穴に通します。
通したリユースワイヤーのフック部(a)を、内側からリユースホルダ(アームホルダ)の穴に通します。

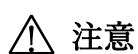
参考  通す穴の位置は、操作者の好みに合わせて調整してください。



2 反対側も 1 と同様に取り付けます。



3 リユースホルダ(アームホルダ)のリユースナット取付用の穴にリユースボルトを差し
ます。



注意

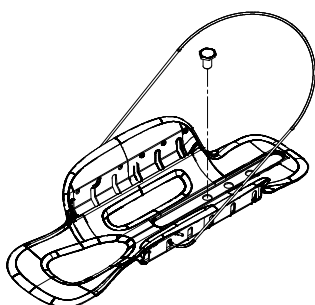
リユースボルトは、必ず指定のボルトを使用してください。



リユースホルダ(アームホルダ)の溝にリユースボルトがしっかりはまるよう差してくださ
い。



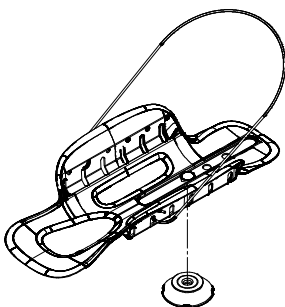
リユースナットの取り付け位置は、操作者の好みに合わせて調整してください。



4 3 で差したリユースボルトにリユースナットを手回しで取り付けます。



リユースナットは軽く締め付ける程度で十分です。リユースホルダ(アームホルダ)が痛み
ますので、あまり強く締め付けしないでください。



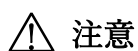
危険

組み付けた後は、がたつきがないことを確認してください。

がたついたまま使用した場合、落下により重大な事故につながる恐れがあります。

7-6 リユースホルダ(アームホルダ)を取り付ける(清潔な人の作業)

リユースホルダ(アームホルダ)をアームエンドユニットに取り付けます。

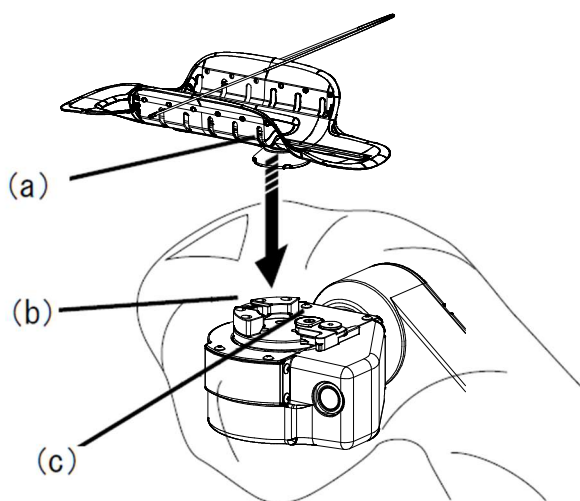


注意

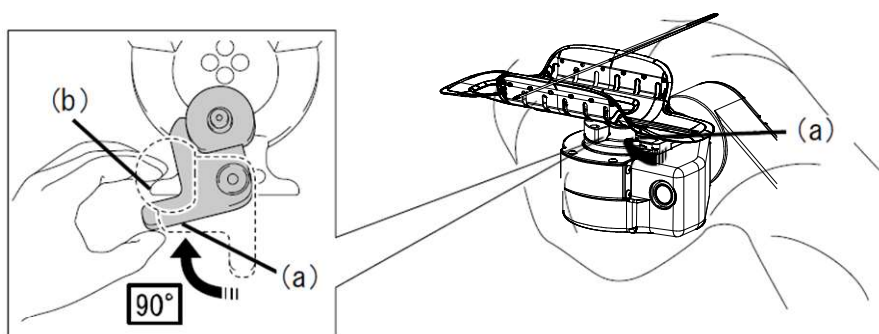
取り付け前に滅菌シングルユースカバー(ドレープ)が本体にかかっていることを確認してください。

1 リユースホルダ(アームホルダ)のリユースナット(a)をリユースホルダ(アームホルダ)取付部(b)の爪に引っ掛けます。

取り付け前に、リユースホルダ(アームホルダ)取付部(b)のホルダ固定レバー(c)が開いていることを確認してください。

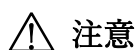


2 ホルダ固定レバーの上部分(a)と下部分(b)をつまむようにして、90° 確実に回してください。



警告

レバーが確実に 90° 回転して、リユースホルダ(アームホルダ)が固定されていることを確認してください。手術中にリユースホルダ(アームホルダ)が外れて落下し、重大な事故につながる恐れがあります。



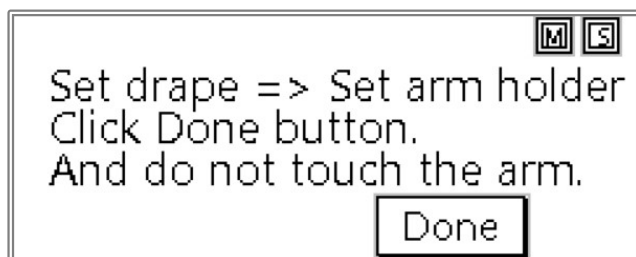
注意

リユースホルダ(アームホルダ)と取付部には向きがあります。リユースホルダ(アームホルダ)のまわり止め部分が取付部に乗り上げないように注意してください。

7-7 バランスチェック・Offset 処理をする（不潔な人+清潔な人の作業）

不潔な人の作業

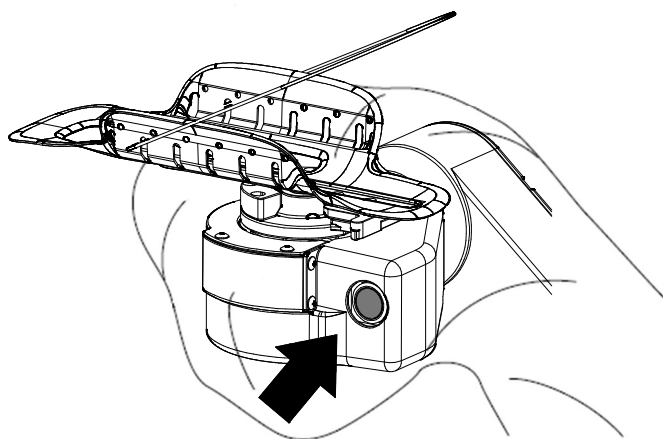
- 1 iArmS の安全性と性能を確保するため、バランスチェックと Offset 処理を行います。操作パネルに以下の画面が表示されていることを確認します。




⚠ 警告

シングルユースカバー(ドレープ)をかけた後でも操作パネルの操作は、不潔な人が行ってください。操作はシングルユースカバー(ドレープ)の下から直接行います。操作の際、シングルユースカバー(ドレープ)の清潔側に触れないように作業してください。

- 2 サブロックボタンがオフ、メインロックボタンもオフになっていることを確認してください。この時、アームは伸びている状態であることを確認してください。



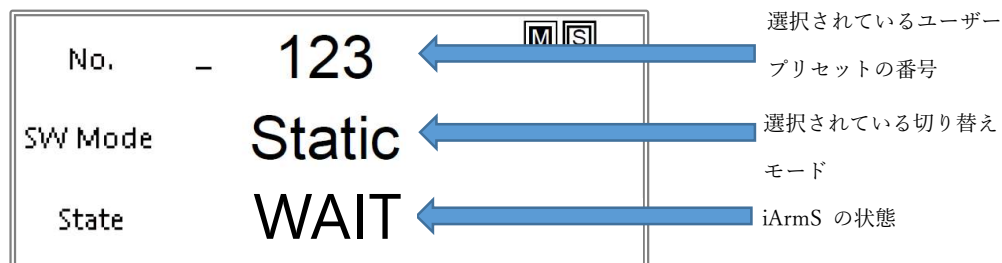
- 3 操作パネル上の Done ボタンをタップしてください。バランスチェックが実行され、アームが少し上に動きます。

参考  バランスチェックがエラーになった場合は、P.79「14-2 エラーメッセージ」を参照してください。

4 準備が完了すると、状態は WAIT になり、以下の画面が表示されます。操作パネルを確認してください。

表示されている内容はそれぞれ以下の通りです。

参考  この画面を「Home 画面」と呼びます。



操作者が使用するユーザープリセットが選択されているか確認し、異なっている場合は、P.69「12-5 ユーザープリセットの変更」を参照し、設定を行ってください。

必要に応じて、P.67「12-3 切り替えモードの変更」を参照し、モードの切り替えを行ってください。



危険

術者の方は、手術前に安全な場所で動作確認を行ってください。
(がたつき、異音、切り替えモード、切り替え速度等)

清潔な人の作業

5 最後に清潔な人がメインロックボタンを押して iArmS 本体を Main Lock にし、操作者へ引き渡します。